

唐津市ふれあい自然塾ひぜん 事業提案概要書

1 施設の平等利用が確保されること。

利用者の公平・平等な利用を確保するために、利用者の意見を尊重し唐津市や地元との意見交換協議を行い、利用者の平等な利用確保を図ります。

また、常に利用者の拡大を図るために、運営努力を怠らず自然塾の施設を効果的に利用して頂くとともに、唐津市や地元と連携し市民利用及び観光客の誘致を行い、利用者の確保を行います。

尚、『すべての利用者に対する施設利用の公平性、平等性の確保』を鑑みるにあたり、地方自治法第244条第2項を遵守し『正当な理由がない限り住民が公の施設を利用することを拒んではならない』ことを念頭に、利用者の公平性・平等性を確保します。

2 施設の効用が最大限に発揮されること。

『ふれあい自然塾ひぜん』利用者に対するサービス向上のための取組みを以下のように行い、環境の変化や新たなニーズに応える運営を実施することで施設の効用を発揮させます。

- ① 自主事業と絡めた中での設備投資の実施：施設・設備への適宜投資と老朽箇所への修繕投資、利用者の安全確保と利用促進のための設備・備品購入を行います。
- ② 体験レクチャー実施によるレクチャー棟の有効活用：カヤックや陶芸等の各種レクチャー教室開催と、それに伴う市民参加の機会を図ります。
- ③ 国民宿舎いろは島と連携した運営：体験レクチャー実施に伴う施設の開放、予約・接客・事故等にホテル従業員が24時間対応出来る体制を策定します。
- ④ 災害避難場所としての施設提供：施設と国民宿舎いろは島が連携し、ホテル従業員による24時間対応と、国民宿舎いろは島の食料・飲料水や避難場所を災害時、利用者及び地域住民に提供します。
- ⑤ 集客向上や地域振興につながる、多種多様な自主事業を実施します。

3 管理に係る経費の縮減が図られること。

隣接施設の国民宿舎いろは島との連携を最大限に生かし、地元取引先への経費削減及び地元雇用者への人件費削減を実施せずに、かつ安全投資を的確に行いサービス水準を確保した上での管理経費削減を実施します。

- ① 国民宿舎いろは島の従業員を活用することで、サービスレベルを低下させずに、人件費の適正化を図ります。
- ② 設備管理業者・仕入業者等を国民宿舎いろは島の取引業者と共有することで、一括購入を可能とし、単価見直しによるコスト削減を実施します。

4 管理を行う物的、人的能力を有していること。

弊社、日隈工業株式会社は『ふれあい自然塾ひぜん』の現指定管理業務及び『国民宿舎いろは島』の経営を行い、高い実績と評価を頂いています。また多角的な経営展開により、安定的な経営基盤を築いています。また、施設従業員も十分な経験とサービスレベルを有しており、管理体制や能力向上の取組みも実施しています